

松野町におけるキウイフルーツ花粉生産の取り組み

キウイフルーツ花粉専用園で栽培がスタート

キウイフルーツかいよう病（Psa3型）の世界的流行によりキウイフルーツ花粉の輸入が制限されたことを受け、果樹研究センターでは不安定な輸入花粉に頼らず、花粉を自給する取り組みを支援するため、大規模にキウイフルーツ花粉を生産する技術を開発した。その技術をもとに松野町でキウイフルーツ花粉を生産する取り組みがスタートした。

キウイフルーツ花粉大規模生産技術の開発

①優良品種の選抜



花粉採取量が多く、発芽率が高い
‘チーフタン’を選抜した。

②せん定作業の省力化



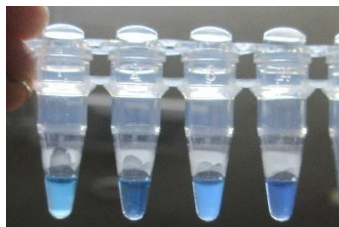
新梢の伸びを抑える薬剤の
適用拡大試験を実施。
せん定の省力化が可能に。

③花粉採取に適した樹形の開発



Tバー整枝法は着花量が多
く、作業負担が少ない。

④かいよう病診断技術の開発



陽性 陰性 陽性 陰性
花粉のかいよう病診断法
LAMP法の実用性を確認。

☆上記の技術をもとに松野町で花粉栽培に取り組むことが決定

キウイフルーツ花粉専用園（松野町農家3戸）



○令和2年3月に栽培開始
3戸の生産者がキウイ花粉専用園
(25a) に雄樹の苗木を植栽。

○雨よけハウスで栽培
かいよう病を未然に防ぐため、雨
よけハウスで防除を徹底して栽培。



水田では根域制限栽培 優良品種チーフタンを導入 栽培研修会で技術向上

◎松野町における花粉生産のスケジュール

年次	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
花粉生産量	2kg	5kg	8kg	10kg

☆将来的に本県の輸入花粉使用量（30kg）の花粉生産を目指す